

(共演者プロフィール)

ルーチョ・ケケサナ **Lucho Quequezana** (ペルー共和国リマ市)



ペルーの音楽家・作曲家。25以上の楽器をこなす(管・弦・打)。11歳でペルー伝統音楽を弾き始める。アジア・欧州・米州を巡回公演した。世界における一文化圏の音楽の変遷に係る提案の特選20の一つに選ばれ、「Sonidos Vivos ー生きた音楽」と題する彼のプロジェクトは、彼をいっきに国際的に有名にした。同プロジェクトでは、世界各国の音楽家にペルー音楽を教えるものである。彼のペルー音楽プロジェクト・コントロールは、ペルー音楽という概念の下で、ペルー国内の文化の相違や境界を打ち破ることを探る。シルク・ド・ソレイユから、世界を巡りペルーの楽器を演奏するための作曲家としても招待されている。

ルーチョは、遠い文化の人々がペルー音楽を好きになるようペルーマーク (Marca Perú) 大使に指名された。現在はペルー中の音楽家、生徒、学生と活動し、海岸、山、ジャングルに境界はないとのコンセプトで国内レベルでの新しい音楽の発展に係るプロジェクトを行っている。ユネスコ、マルチモントリオール音楽、及びケベック芸術審議会によって表彰された。ルーチョは、今日では世界におけるペルーの主要な文化大使の一人である。